

プログラム責任者
からのメッセージ眼科
教授 山城 健児

高知大学医学部眼科学講座は研究・教育・診療のいずれの事項にも力を入れ、専攻医が充実した研修を送ることができるように整備されたプログラムを組んでいます。研修期間中には専門研修連携施設で研鑽を積むことにより、一般臨床から難治な疾患まで豊富な眼科学知識を身につけてもらいます。手術に関しては早くから術者として白内障手術に取り組むことができます。研修修了までに網膜硝子体、緑内障、角膜疾患など幅広く手術を経験することにより、将来のサブスペシャリティ選択肢が広がります。また、高知大学はアレルギーや免疫、血管新生が関与する眼疾患に関する研究を専門としており、基礎研究や臨床研究にチャレンジしたい専攻医にとっても最高の環境を提供できます。

プログラムの特色

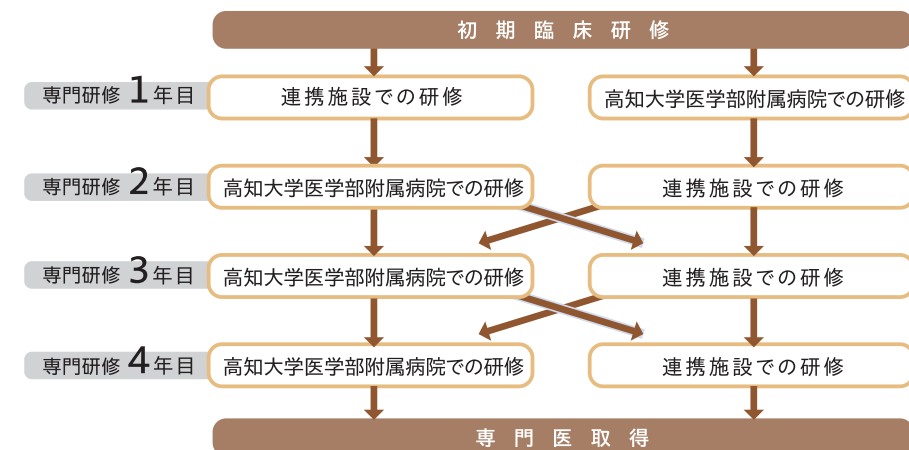
高知県の医療圏は、安芸、中央、高幡、幡多の4つの二次医療圏に分けられます。医療資源の多くが中央医療圏に集中し、他の二次医療圏は眼科医不足、特に若い眼科医の人数が極めて少ない現状です。高知大学眼科専門研修プログラムを作成するに当たって留意した点は、このプログラムが高知県下の眼科医の偏在を助長することなく、公平性を担保し、眼科専門研修の目標を達成できるよう、作成・運用されることです。本プログラムは、高知県下の多くの医療機関が参加することにより、専攻医が希望する地域にある連携施設での研修が可能であり、高度医療から地域医療まで幅広く研修することにより、眼科専門医としての自身の成長を強く支援します。

連携施設名等

	施設名	指導管理 責任者	内眼手術 (年間)	外眼手術 (年間)	レーザー手術 (年間)
基幹 施設	高知大学医学部 附属病院	山城 健児	1,552	247	157
連携 施設	高知医療センター	大庭 啓介	89	51	121
	須崎くろしお病院	林 暢紹	248	50	55
	ツカザキ病院	長澤 利彦	6,667	1,667	1,072

専攻医
週間スケジュール高知大学医学部
附属病院の例

	月	火	水	木	金	土
朝	総回診 外来	病棟回診	症例 カンファレンス 病棟回診	症例 カンファレンス 病棟回診	病棟回診	病棟回診
午前 (9時～12時)	手術	外 来	外 来	外 来	手術 専門外来	
午後 (12時～17時)	手術 特殊検査	専門外来	外 来	外 来	手術 専門外来	
夜 (18時～19時)			研究 カンファレンス			

専門医、指導医
取得までの
タイムスケジュール

取得可能専門医

眼科専門医 | ●アレルギー専門医

指導医の声

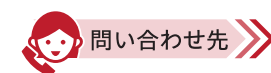
講師
角 環

高知大学眼科に入局。一般眼科研修後、興味をもった角結膜疾患の手術や治療経験をつむために2年国内留学。症例を経験することで基礎研究の大切さを痛感し、国内留学から帰高後、大学院に進学し医学博士を取得しました。大学院卒業後は2人の子供を育てながら、サブスペシャリティ領域の日本アレルギー学会専門医も取得。眼科の学会は託児室が設置されていますので、学会参加はいつも子連れでした。子育てをしながらのフルタイム勤務も、医局の皆が家族のように助けてくれることでクリアできました。当科は女性も子育てをしながらキャリアを積める魅力ある科です。

先輩の声

医員・大学院生
中島 勇魚

高知県は眼科医がとても少なく、入局時から多くの症例を経験することができます。現在、まだ後期研修4年目ですが、すでに300件以上執刀し、眼腫瘍という分野でより専門性の高い手術、外来の研鑽をしています。また眼科医として働きながら、大学院では基礎研究を、さらに今年は一から指導頂き、臨床報告の論文が英文ジャーナルに3本掲載されました。意欲があれば様々なことにチャレンジできる医局です。興味があれば是非一度眼科研修に来てください。



問い合わせ先

■教室名／眼科学
■担当者名／山城 健児
ヤマシロ ケンジ

■電話／088-880-2391
■メール／im36@kochi-u.ac.jp